

児童の権利等

・ 児童の権利に関する条約

○平成元年 1 1 月 2 0 日に国連総会において採択された。

○四つの原則

第一に、児童生徒に対するいかなる差別もしないこと

第二に、児童生徒にとって最もよいことを第一に考えること

第三に、児童生徒の命や生存、発達が保障されること

第四に、児童生徒は自由に自分の意見を表明する権利をもっていること

・ こども基本法

○第1条（目的）

「日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、こどもの心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こども施策を総合的に推進すること」

【振り返りましょう あなたの人權感覚】

名前の呼び方

Q子どもを「おまえ」と呼んだり、名前を「〇〇」と呼び捨てで呼んだり、人によって呼び方を変えていませんか？

○一人一人の子どもは、かけがえのない存在であり、人格を尊重するという趣旨から、呼び捨てにせず、男女ともに「さん」を付けて呼ぶことが大切です。

押しつけ、思い込み

Q「一人っ子だからね。」「何をやっても遅い。」などと、子どもの個性や特徴（家庭環境、性格、能力特性、国籍等）の一部を捉えて、決めつけた見方をすることはありますか？

○子どもの内面をよく理解し、常に子ども一人一人の立場に立った言動をすることが基本です。

いじめの早期発見

Q子どもの行き過ぎた関わりを「じゃれあい」として見過ごしていませんか？

○一方の子どもや周りの人が「遊び」のつもりでも、それをされている子どもがどう感じているのかを大事にして、表情や言動をよく観察したり、積極的に声を掛けたりすることで、いじめの早期発見につなげましょう。

プライバシー

Q黒板の隅に、忘れ物をしたり、提出物を出していなかったりする子どもの名前や出席番号などをメモすることはありますか？

○教室などに、課題等の提出状況や学習ドリルの進捗、身体的状況を示すグラフを掲示することもプライバシーに関わる重大な問題です。